

## 先進医療Bのうち、1年間(平成23年7月1日～平成24年6月30日)の実施件数が0件である技術に係る医療機関の今後の対応方針等

告示番号	技術名	申請医療機関	0件の理由	医療機関の今後の対応方針	平成24年7月～12月までの実績	(参考) 平成22年7月～平成23年6月までの実績
4	胎児尿路・羊水腔シヤント術	国立循環器病研究センター	対象患者がいなかったため。	取り下げも含め、検討を行う。	0件	0件
5	筋過緊張に対する筋知覚神経ブロック治療	徳島大学病院	対象患者がいなかったため。	取り下げも含め、検討を行う。	0件	2件
15	ラジオ波焼灼システムを用いた腹腔鏡補助下肝切除術	岩手医科大学附属病院	対象患者がいなかったため。	平成24年6月に試験実施計画書の変更を行い、多施設での実施が可能となったため、協力医療機関も含め、試験実施計画書のとおり実施出来るよう努力していく。	0件	2件
19	経カテーテル大動脈弁留置術	大阪大学医学部附属病院	報告体制に不備があり、誤った報告をしていた。(平成23年7月1日～平成24年6月30日までの実績は18件)	報告体制の改善を行う。	11件	0件
30	重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する心停止ドナーからの膵島移植	福島県立医科大学付属病院	臨床試験としてのクオリティの厳格化を図ったため、データセンターを中心とした体制整備に想定以上の時間を要したため。また、膵島移植が臓器移植と組織移植のほごまに位置し、専属のコーディネーターも不足しているため、膵島移植のコーディネーション体制の確立に時間を要したため。	平成25年1月に試験実施計画書の変更を行い、協力医療機関も含め、試験実施計画書のとおり実施出来るよう努力していく。	0件	0件
40	ゾレドロン酸誘導γδT細胞を用いた免疫療法	東京大学医学部附属病院	平成24年6月に大臣告示されたが、院内倫理委員会において高度医療評価会議で指摘され修正したプロトコールについての再審査・承認を得る手続きに時間を要し、第一例目は8月の実施となったため。	試験実施計画書のとおり実施出来るよう努力していく。	2件	—